

カスタムパーツの最注目アイテムであるマフラー。ビューエルも豊富に揃っているが、意外にもフルエキゾーストは数えるほどしかない。これは純正のレースキットの出来がいいためなのだが、そこに敢えて挑んだコンストラクターたちがいる。ここでは、現在発売されているフルエキゾーストの作り手たちに、その思いを語って戴いた。

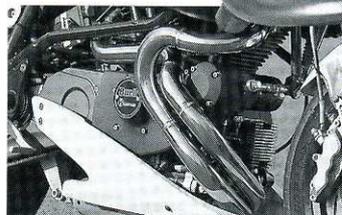
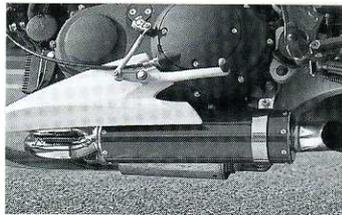
# レースキットを超える！ フルエキゾースト物語

「やっぱり見た目は大事。マフラーには、  
見せる楽しみもあるんだから」



ビューエルのマフラーは、まずサイレンサーだけを出してしました。実はフルエキゾーストも早くから考えていたんですが、レースシングキットのマフラーが結構良く出来ていて、満足いく仕様とカタチを追っていたら、2年も経ってしまっただけ。出来たのはつい最近ですよ。これが初のお披露目になるんじゃないかな？

出来具合は、まあこんなもんじゃないかと。音は結構抜けがイイんですが、レースキットのような割れた音にはなりません。パイプ径は、外径で約45φほどあり、これはレースキットと同じ数値です。ディメンションもレースキットとほぼ同じ。やはり良くできてますね。純正は。ただしウチのは集合部を出来るだけサイレンサー直前まで持たせていまして、

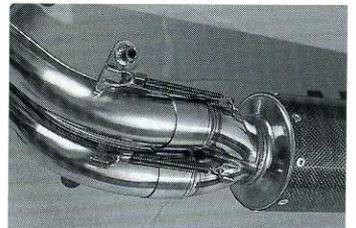


干渉がなるべく少なくなるようにして作り直しました。当然抜けは良くなり、ボン付けでもパワーは上がりますよ。当然ながら、しっかりとセッティング出しすれば、もっとスムーズにパイプになります。

性能もそうですが、マフラーはバイクの中でも、バイク全体のデザインと雰囲気を大きく左右するものだと思うんです。どうせなら、カッコ良く質感も高い方が、バイクもさらに引

取材協力/H-Dレインボー Phone 0298-22-6666

## H-D RAINBOW



スポーツスターカップやビューエルでもって耐参戦など、ハーレーユニットとはレースでも深い付き合いを続けていたレインボーの天田氏。オリジナルのレーシングフルエキゾーストは、悩みながらコソコソ作ってきたという。これはX1用で現在M2用も考案中とのこと。材質はエキパイ部分がオーステンレスで、サイレンサーはカーボン。こだわったのは、集合部分を如何に小さくまとめられるか。集合部までの各エキパイの長さは40インチが基本と言え、価格は18万8000円。レインボーの試乗車にはフルエキゾーストとスリップオン付きの両方があり、いずれも試乗可能。マフラーをテストしたいビューエルオーナーもぜひ来て、と天田氏の弁。

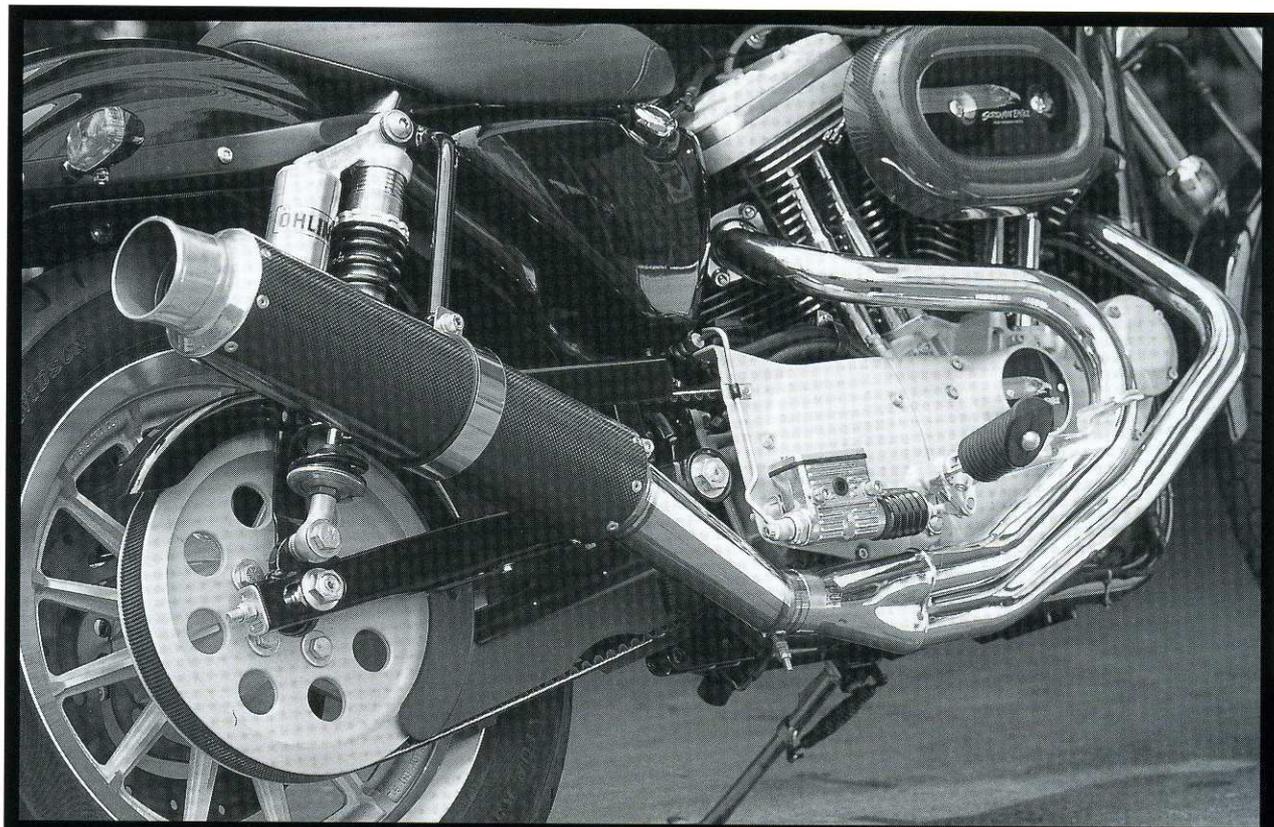
「太さによる迫力の演出、  
これが何モノにも変え難かった」



●撮影●  
磯部孝夫  
石村英治  
Yacushi Takakura 高倉康

HOT BIKE Japan SPECIAL ISSUE  
SPORTSTER IV

# 別冊 Buell



写真はストリート用ニュー2in1。長いサイレンサーがレインボーの特徴といえる。レースでも、ストリートでも使用でき、スポーツ系ライダーには、かなりオススメだ。価格も品質と性能から考えれば、ナットク!

■ 2in1  
10万8000円  
(ステンレス+アルミサイレンサー)  
11万9000円  
(ステンレス+カーボンサイレンサー)

## レインボーのニュー2in1ストリートバージョンとレース用2in2

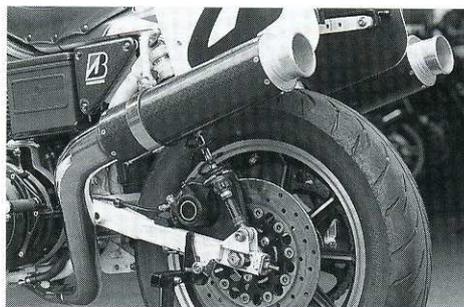
レインボーは茨城県土浦市にあるハーレーダビッドソン正規販売ディーラーである。同店の天田さんは、元レーシングライダーにして、スポーツスター883カップで、いくどもチャンピオンを獲得。デイトナに日本のチャンピオンライダーとして参戦した経験も持つ、スポーツスターのスペシャリストだ。そんな天田さんの経験からか、レインボーにはスポーツスターを求めるユーザーが多い。この店に来るスポーツスターのユーザーは、レースをやったり、ワインディングを積極的に攻める、いわばスポーツ系ライダーが多数を占める。だから必然的に、レインボーのマフラー装着率は非常に高い。

まさに実績に裏打ちされた性能を誇るレインボーのオリジナルマフラーは、スポーツ系ライダーに広く認められる、代表的なマフラーである。以前ラインナップしていた2in1の旧モデルは、スポーツスター1200に装着。ダイノジェットを加えただけで、58ps→71psへとパワーアップした実績を持っている。

満を持して発売されたのが、この2in1だ。写真はステンレスエキゾーストパイプ+カーボンサイレンサーの組み合わせだ。排気管長を長くとり、サイレンサーの容量もかなり大きなこのマフラーは、ストリートというよりも、当然、サーキットを意識したつくりであることが一目で感じられる。

また、もうひとつの2in2は、レース専用としてラインナップされる。さらに容量を増したレーシングスタイルは、非常にアグレッシブなため、ストリートでつけてみたいという人も、結構多くいるかもしれない。スポーツスターレースに参戦する人には、かなり魅力的なマフラーであることは間違いない。

左側からでも、こんなにアグレッシブな2in2のスタイリング。素材はステンレスエキゾースト+カーボンサイレンサーのみの構成となり、価格はレース用としても、ハイパフォーマンスな19万8000円である。



ド迫力の2本出しマフラー。排気効率の向上と、バンク角を稼ぐためのデザインは、まさにレース用。この車両のようにサスを長くしていないと、スタンダードでは装着できなそう。